

# Fifteen years of JGU Summer/Autumn/Geomorphology School and its future

# JGU夏/秋/地形の学校の15年とこれから

早川裕式 (北海道大)・小口 高 (東京大)・小口千明 (埼玉大)・若狭 幸 (弘前大)・JGU行事幹事会  
Yuichi S. HAYAKAWA (Hokkaido Univ.), Takashi OGUCHI (Univ. Tokyo), Chiaki T. OGUCHI (Saitama Univ.), Sachi WAKASA (Hirosaki Univ.), JGU Event Committee

日本地形学連合が主催する学会員および一般向けの公開講座として、「JGU夏の学校」が2010年に開始された。当初のコンセプトとして、シニア研究者の経験を、若手の研究者や学生、実務者に伝えるというものが、多くの卓越したシニア研究者に講師として登壇していただいた。テーマもさまざまであり、地形プロセスや斜面地形、海岸地形、変動地形、石灰岩地形、また社会連携や和文作文法など多岐にわたる。一方、当初は会場調整の点から関東での現地開催という制約もあり、その年に講演可能な講師を確保できなかった場合は、最新の地形計測手法についての座学・実習といったかたちで、夏だけでなく秋に開催することもあった。コロナ禍等の理由により開催できない年があった後には、オンライン配信も含めることでより多くの参加者に機会を提供できるようになった。11回目となる2022年からは名称を「地形の学校」とリニューアルし、今後もより魅力的な講座を継続してゆくことを見込んでいる。たとえば2024年には、座学だけでなく「走学」も取り入れるなど、新たな試みを模索している。今後の講座における講師の推薦(自薦・他薦問わず)やテーマに関する要望は、JGU行事幹事会で受け付けている。

The "JGU Summer School" was launched in 2010 as a public lecture series organized by the Japanese Geomorphological Union (JGU) for its members and the general public. The initial concept was to share the experiences of senior researchers with younger researchers, students, and practitioners. Many outstanding senior researchers were invited to give lectures on various topics ranging from geomorphic processes, mass movements, coastal morphology, tectonic geomorphology, and limestone morphology, to social collaboration and scientific writing in Japanese. However, due to venue constraints in the Kanto region (eastern Japan), if a lecturer could not be secured in a given year, the event was sometimes held without a senior lecturer, and in the fall rather than in the summer. In such cases, lectures and practical training on the latest topographic measurement methods were arranged with younger lecturers. In 2022, the 11th occasion of the lecture series, the name was changed to "Geomorphology School", with plans to offer more engaging courses moving forward. For example, in 2024, we introduced a "lecture on running" alongside the classroom lectures. The JGU Event Committee will continue to accept recommendations for lecturers (both self-recommendations and others) and requests for lecture topics.

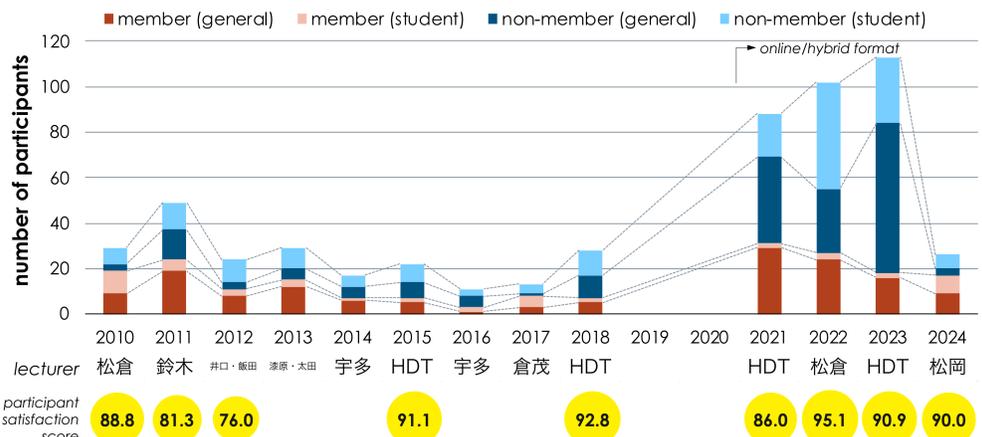


Fig. 1. Number of participants and its breakdown of the past events of JGU Summer/Autumn/Geomorphology School. Non-member participants consistently comprised more than half of the total (averaging 65%, ranging from a minimum of 34% in 2010 to a maximum of 84% in 2023). Student participation averaged 40%, with a minimum of 24% in 2021 and a maximum of 69% in 2017. The participant satisfaction score is derived from survey responses collected after each event. HDT refers to school sessions focused on advanced topographic measurement techniques, provided by the High-Definition Topography Project.

## list of previous schools

名称	日程	テーマ	講師
地形の学校 2024	2024年9月28日~29日	歩いて走って考える地形学 —スイングスバーチャル —スイングスバーチャル —スイングスバーチャル —スイングスバーチャル	松岡憲知
地形の学校 2023	2023年11月22日	低価格ライダーで3D環境計測	早川裕式
地形の学校 2022	2022年11月29日	風化・侵食プロセスと地形変化 —とくに、風化・侵食の プロセスの実態やそれに伴う 地形変化とその速度について	松倉公憲
秋の学校2021	2021年12月3日	ドローン計測ステップアップ —今すぐ飛ばしたくなる RTKドローン—	内山庄一郎, 小倉拓郎, 小花和宏, 齋藤 仁, 早川裕式
夏の学校2018	2018年7月29日	UAS (ドローン) 地形計測の さらなる進化	内山庄一郎, 小倉拓郎, 小倉和宏, 齋藤 仁, 早川裕式
夏の学校2017	2017年9月9日~10日	科学的和文作文法勉強会	倉茂好匡
夏の学校2016	2016年8月20日~21日	どうすれば九十九里海岸の侵食を止められるか	宇多高明
秋の学校2015	11月6日	高鮮明地形情報の取得と解析	内山庄一郎, 小倉拓郎, 小倉和宏, 齋藤 仁, 早川裕式
夏の学校2014	10月18日~19日	海岸地形	宇多高明
夏の学校2013	2013年10月12日~13日	カルスト地形・変動地形	漆原和子, 太田 陽子
夏の学校2012	2012年8月18日~19日	斜面プロセスの地形学	井口隆, 飯田智之
夏の学校2011	2011年10月18日~23日	地形学で社会に貢献しよう	鈴木隆介
夏の学校2010	2010年8月28日~29日, 9月4日~5日	地形プロセス学の基礎	松倉公憲

### JGU夏の学校2010

~地形プロセス学の基礎~

日本地形学連合 Japanese Geomorphological Union Summer School 2010

「地形学で社会に貢献しよう」  
For furthering geomorphological contributions to society.

1日 鈴木隆介 (筑波大学) 「地形学で社会に貢献しよう」  
2日 井口隆 (筑波大学) 「斜面プロセスの地形学」  
3日 飯田智之 (筑波大学) 「斜面プロセスの地形学」

### JGU夏の学校2011

~地形学で社会に貢献しよう~  
2011/10/22Sat-23Sun

日本地形学連合では、2010年に引き続き、第2回「夏の学校」を開催いたします。経歴豊かなシニア研究者、若手や社会人を含む多様な対象に講演を行うという趣旨で、広くの方々の参加をお待ちしております。

1日 井口隆 (筑波大学) 「斜面プロセスの地形学」  
2日 飯田智之 (筑波大学) 「斜面プロセスの地形学」

### JGU夏の学校2012

斜面プロセスの地形学  
2012年8月18日(土)~19日(日)

日本地形学連合では、経験豊かなシニア研究者、若手や社会人を含む多様な対象に講演を行うという趣旨で、広くの方々の参加をお待ちしております。

1日 (8/18土) 井口隆 (筑波大学) 「斜面プロセスの地形学」  
2日 (8/19日) 飯田智之 (筑波大学) 「斜面プロセスの地形学」

### JGU夏の学校2013

2013年10月12日(土)~13日(日)

日本地形学連合では、経験豊かなシニア研究者、若手や社会人を含む多様な対象に講演を行うという趣旨で、広くの方々の参加をお待ちしております。

講師: 太田 陽子 (筑波大学), 漆原 和子 (筑波大学), 井口隆 (筑波大学)

### JGU夏の学校2014

10/18 (土), 10/19 (日)

日本地形学連合 (JGU: JAPANESE GEOMORPHOLOGICAL UNION) では、経歴豊かなシニア研究者、若手や社会人を含む多様な対象に講演を行うという趣旨で、毎年「夏の学校」を開催しております。

講師: 宇多高明先生 (筑波大学)

### JGU秋の学校2015

高鮮明地形情報の取得と解析

UAVの運用、空撮、画像処理、3次元データ作成まで一連の作業を全参加者で体験!

2015年11月06日(金) 10:00-16:00

### JGU夏の学校2016

どうすれば九十九里海岸の侵食を止められるか?

~土砂供給、移動、堆積、侵食の全て~

2016年8月20日(土)~21日(日)

講師: 宇多高明先生 (筑波大学)

### 科学的和文作文法勉強会

2017年 9月9日(土)・10日(日)

講師: 倉茂好匡先生 (筑波大学)

参加費: JGU会員 学生1,000円 一般1,500円

### JGU夏の学校2018

ドローン UAS 地形計測のさらなる進化

2018年7月29日(日)

講師: 内山庄一郎, 小倉拓郎, 小倉和宏, 齋藤 仁, 早川裕式

### JGU秋の学校2021

ドローン計測ステップアップ!

~今すぐ飛ばしたくなるRTKドローン~

2021年12月3日(金)

### JGU地形の学校2022

風化・侵食プロセスと地形変化

とくに、風化・侵食のプロセスの実態やそれに伴う地形変化とその速度について

2022年11月29日(火) 9:30-16:50

### JGU地形の学校2023

低価格ライダーで3D環境計測

3D environmental measurement using low-cost Lidar

2023.11.22 wed 9:00-12:00

### JGU夏の学校2024

歩いて走って考える地形学

スイングスバーチャル巡検+マラソンコースを地形学で読み解く

2024年9月28日(土) 13:00-17:00

### JGU夏の学校2024

走学

Running field trip 08:00-14:00

2024年9月29日(日)